



地域の交通事故防止活動

～ドライブレコーダーの活用～

◇ その他の活動 ◇

【活動の概要】

平成26年3月から施設利用者の送迎やサービス利用者への訪問、その他事業活動に使用する車両のすべてにドライブレコーダーを配備しています。

平成29年3月に金沢中警察署と交通事故防止協力協定を結び、交通事故などに遭遇する危険性の高い高齢者を発見した場合は警察署へ通報するなど地域の交通安全防止に努めることにしました。

また、職員の安全運転意識の向上につなげ、ドライブレコーダー映像を活用して警察当局による交通安全指導を行なってもらっています。

【これまでの経過】

女性による運転が多い職場特性から、事故発生時の原因調査に役立てたいと考えて全車両にドライブレコーダーを配備しました。

【活動の効果】

職員に安全運転の意識が浸透し、同時に危ない歩行者への注意意識が高まり、子どもや高齢者には「危ないよ!」「横断歩道をわたろうね!」などの声かけにつながっています。

【活動の課題】

ドライブレコーダーの映像解析によって安全運転について職員間で話し合い、注意を促し合う場を定期的に設けたいと考えています。



職員の大平有紗さん(18)が交通安全宣言を読み上げた。同署によると、金沢環境サービス社では、レコーダーの設置協力を依頼した昨年8月以降、年間十数件あった事故が半年で3件に抑えられた。



軽費老人ホーム シニアマインド21

運営法人：社会福祉法人洋和会 金沢事業部

住 所：金沢市山科町午 40-1

電 話：076-241-1177

F A X：076-241-1178